

いか釣り漁業 公表用実技試験問題（上級）

1. 作業の安全

(1) 安全装具の装着（5分）

- ① ゴム長靴、合羽、作業用救命衣、ヘルメットを装着する。
- ② 救助ロープをもやい結びで装着する。

【使用機材】各自通常使用中の上記装具、ロープ2 m（人数分）

2. 漁具の製作・補修

(1) ロープの結び方（12分）

- ① かえる又結び ② 巻結び ③ アンカーベント（錨結び）
- ④ バックスプライス ⑤ アイスプライス ⑥ ショートスプライス

【使用機材】長さ2 m、中程度の太さのロープ数本（人数分）

(2) 漁具の製作・準備（20分）

- ① ドラムをいか釣り機に取り付ける。
- ② 漁具（錘+道糸+擬餌針+道糸+撚り戻し）を製作する。
- ③ リールに漁具を巻き付ける。

【使用機材】自動いか釣り機1台、テグス1 m×2、擬餌針1つ、錘1つ、撚り戻し1つ、ハサミ（人数分）

3. 漁具・漁労機械の操作

(1) ソナー等の映像判断（5分）

画像を見て、操業に必要な以下情報を読み取る。

- ① 魚群反応、② 船首方向、③ 船首から魚群の方位、④ 船から魚群の距離、
- ⑤ 魚群の深さ

【使用機材】大日本水産会が用意

(2) ロープの巻き上げ（5分）

(3) ロープの巻き上げ（5分）

錘を付けたロープをガイド(フェアリーダー、サンポウローラー等)に通し、ローラーで巻き上げる。

【使用機材】ロープ20 m、キャプスタン等のローラーを設備した漁船。

(3) スパンカーの展開・収納作業（10分）

- ① スパンカーを展開し、弛みなく張る。

②スパンカーを閉じてロープで固定する。

【使用機材】 スパンカーを設備した漁船。

以上